

令和2年

雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和2年6月11日～6月15日】

令和2年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/11(木) 10時00分～	2／中林 孝	一問一答	1～2	11	6/15(月) 10時00分～	3／松林 孝之	一問一答	15～18
2		18／堀江 治之	一問一答	2～2					
3	6/11(木) 13時00分～	9／佐藤 隆司	一問一答	2～4					
4		8／細木 照子	一 括	5～5					
5		1／上代 和美	一問一答	5～8					
6	6/12(金) 10時00分～	21／周藤 正志	一問一答	8～9					
7		5／原 祐二	一問一答	9～10					
8	6/12(金) 13時00分～	14／細田 実	一問一答	10～12					
9		10／藤原 政文	一 括	12～12					
10		4／中村 辰眞	一問一答	12～15					

令和2年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和2年6月8日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 中小企業支援について 2. 学校施設整備について 3. 災害対応について 4. 定住対策について 5. 施策推進の基本的な考え方について	(1)5月臨時会で雲南市商業・サービス業感染症対応支援事業補助金、雲南市中小企業支援事業が決まった。スピーディーな対応は評価できるが中小企業対策はこれで十分か。 (2)市内の事業者は、国の支援策(持続化給付金、雇用調整助成金など)を活用できているか。本市としてできる支援策はないか。 (1)加茂小学校で使用されなくなったプールが長期間放置され撤去の要望も出ている。プール撤去はなぜ進まないか。また、今後の方針及びスケジュールについて伺う。 (2)音楽室など特別教室のエアコン設置は完備出来ているか。猛暑の続く夏季の授業で児童生徒の健康に支障はでないか。 (1)避難所となっている体育館などに避難者同士を仕切る設備や道具はあるか。新型コロナウイルスが終息していない状況下で、3密が予想される避難所は高齢者や基礎疾患がある人にとって安心して身を寄せる施設と言えるか。 (1)宅地購入補助金(当初予算400万円)が4月中旬に「完売」となった。定住に向けた持家対策のいわば看板商品である。補正予算が必要ではないか。 (1)市民は必要な施策の速やかな実施を求めており、新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの配布は時宜を得て好評だった。施策の優先順位をどのように考え、実施する考えか。 (2)食の幸発信施設整備事業は指定管理事業者であるJAとの連携や議会への十分な説明、こうした手順を踏まえ、必要性などを市民	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				に丁寧に説明していくことが求められる。見解を伺う。	
2	18	堀江治之 (一問一答)	1. 過疎地域自立促進特別措置法について 2. 2025年問題について 3. 国勢調査について	(1)現在の過疎地域自立促進特別措置法が、今年度末(令和3年3月31日)をもってその効力を失う。現状と今後の対応等について伺う。 ①過疎地域自立促進計画を策定することにより、各種事業推進に有利な過疎債を借りることが出来るが、合併以来過疎債の借入総額はいくらになるのか伺う。また、同様に有利な合併特例債の借入総額はいくらになるのか伺う。 ②過疎自治体としては、過疎法の継続か新たな制度を望むところであるが、国の動向を伺う。 ③2月に中期財政計画実施計画を策定されたが過疎債の扱いはどのようなになっているのか伺う。 ④合併特例債の適用期限後には大変貴重で有利な起債であり、市長として国への要請活動等どのような考えをされているのか伺う。 (1)団塊世代と言われる人が、後期高齢者(75歳以上)となられる2025年に向けての介護の現状と今後の取組方針等伺う。 ①平成30年度から令和2年度(3年間)の雲南地域第7期介護保険事業計画が策定され、本年度で終了するが、介護施設・介護スタッフ等は事業計画どおりに実行されているのか伺う。 ②2025年に向けた課題は無いのか、あるとすればどのような事が解決策についても伺う。 ③介護保険料の現状と2025年の想定される保険料額について伺う。 (1)本年10月1日を基準日とする5年に一度の国勢調査が実施されるが、雲南市の調査体制の概要について伺う。	
3	9	佐藤隆司	1.5期目を目指さ	(1)4年前は「6町村が合併し最初の10年は、基礎固めの期間であっ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	<p>れる速水市長の政治姿勢について</p> <p>2. 食の幸発信推進事業について</p>	<p>た。これからの10年は、その基礎固めの上に、将来の雲南市の発展を確固たるものにする飛躍の年にしていかなければならない」と4期目の出馬表明をされている。今回は「飛躍に向けた集大成にしなければならぬ」と出馬表明された。</p> <p>①その実現に向け第2次総合計画では「人口の社会増への挑戦」を掲げ取り組まれたがその実績と成果を伺う。</p> <p>②その重要戦略として2点を集中的に取り組むと示され、一つ目の「子育て世代の流出抑制とUIターン人口の増加に向けた定住環境基盤整備」の取り組みの実績と成果を伺う。</p> <p>③二つ目の「少子高齢化に伴う地域活力低下等の地域課題解決に挑戦する人材の育成、確保」の取り組みの実績と成果を伺う。</p> <p>④具体的な大型事業の一つである中心市街地活性化事業は、核事業と位置付けられているビジネスホテルが「一時保留」とされた。その経緯と再開の目途について伺う。</p> <p>⑤そうした現状や実績、成果を市民に示すことが必要と考えるが、市政懇談会は延期ではなく中止とされたのはなぜか伺う。</p> <p>⑥「飛躍に向けた集大成」とはどのような意味か伺う。</p> <p>(1)食の幸発信推進事業 基本計画の変更について</p> <p>①平成27年2月に示された基本計画から5年が経過しているが、その間、変更や修正が繰り返されてきた。事業費を含めこれまでの経緯を伺う。</p> <p>②これまで市民への事業説明や広聴の機会はどのようにされており、市民理解をどう受け止めておられるのか伺う。</p> <p>③商売圏域の「オーバーストア」と言われ競争環境が厳しさを増す</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>状況下で、立地環境としては商売に相応しくない場所と思われるが、30万人集客し3億円売上により収益が期待できる経営計画とされているがその可能性を伺う。</p> <p>④「新しい生活様式」が模索されており市民生活に寄り添う事業対応が今後も求められる中、新たな公の施設整備事業の10億円の大型事業は不要不急の判断や選択と集中も検討し「一時保留」とされる必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(2)農業振興策について</p> <p>①食の発信推進事業を進める上では、課題とされている産直野菜生産者数や年齢の現状データから生産者数を維持しつつ出荷量の拡大につなげる必要があるが、10年後の生産者数、出荷量をどう見通しされているのか伺う。</p> <p>②「新しい生活様式」や「田園回帰」の流れを追い風に、少量多品目で栽培すれば「プチ収入」でちょっと稼ぐことができると同時に安心安全な野菜を自らチャレンジし栽培する広がりも期待できるのではないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>③今回、あらためて農業や食の大切さが再認識されたことに加えて、農業での健康増進や生きがい創出の効果やレクリエーション的な野菜づくり、健康・生活を意識した自家用野菜づくりは、農家に留まらず非農家を中心に増加していくのではないかと推測する。市とJAの連携でシェア農園（チャレンジ農園・レンタル農園・市民農園）を整備し、具体的な実践（菜園講座・教室）で安心安全な野菜の生産者を増やす“きっかけづくり”、まさに「食の幸」発信推進の展開をすべきと考えるが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
4	8	細 木 照 子 (一 括)	<p>1. 新型コロナウイルスの感染拡大で使われているカタカナの専門用語は高齢者に理解されたのか</p> <p>2. 介護保険制度の維持について</p> <p>3. 土砂災害特別警戒区域等の対応策について</p> <p>4. 営農型太陽光発電設備の設置について</p>	<p>(1) 今回の新型コロナウイルス肺炎は、第2次世界大戦以来の試練だと言われ、世界中を震撼させた。日本の報道機関は、クラスター、オーバーシュート、ロックダウン、パンデミック等のカタカナ専門用語で報道された。この様な感染拡大の病気の場合は、国民に広く理解をされて、みんなが協力しあって、病気を防ぐ必要がある。特に高齢者などの立場を、どの様に考えておられたと思うか、市としての見解を伺う。</p> <p>(1) 発足20年を迎える介護保険制度が、人手不足により多くの自治体で維持に懸念をされている。なぜ人手不足が大きな問題化になるのか。介護職の勤務・仕事内容と賃金実態について、現場の視察をしているのか。介護度の高い利用者の、夜間の実態等はキチンと状態把握をしておかれないと、人手不足になる原因等が解らず仕舞いに成りかねない。市の見解を伺う。</p> <p>(1) 全国的に豪雨災害が頻発する中で、警戒区域の指定が急がれている。市は県内でも2～3番目に予定されている警戒区域が多い。今年度は土砂災害特別警戒区域等が指定される予定と聞く。警戒区域に指定された所は、どの様な対応策が考えられるのか、市の見解を伺う。</p> <p>(1) 農作物を育てながら、同時に発電を行う、営農型太陽光発電設備。稲や多くの野菜類では、設備設置の遮光による成長阻害は無いと言われている。設備の設置は雲南市などに向いていると考える。食もエネルギーも同時に生み出す未来型農業の可能性を指導して欲しいが、市の見解を伺う。</p>	
5	1	上 代 和 美	1. 新型コロナウイルス	(1) 新型コロナ感染拡大という、市がかつて経験したことがない事態	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	ルス感染症対策について	<p>が起きている。明らかな感染者は出ていないが、第2波に備えて、この機にしっかりと感染対策を整備しておく必要がある。</p> <p>①市民からは「感染の疑いがあれば早急に検査してもらえる態勢を確立してほしい」「感染経路不明者が増加している。PCR検査をする機関を設置することが急務です」また、「PCR検査をうけさせてもらえなかった」など検査体制の抜本的拡充を求める声がある。特に医師が新型コロナウイルス感染の有無を調べる検査が必要と判断したら、検査が受けられるように、市として態勢をとるべきではないか。</p> <p>②医療崩壊（院内感染）、介護現場での施設内感染が絶対に起こってはいけない。「介護現場で仕事をしているが、（自分が）感染源にならないかといつも不安をもっている」など医療従事者、介護従事者は常に感染と隣り合わせであり、不安を抱えて仕事に従事しなければならない。医療・介護崩壊をくいとめるために、職員・患者・入所者に対して、感染の有無にかかわらず、「PCR・抗原・抗体」などの検査が定期的に行えるようにすべきである。</p> <p>③病床の確保や受診抑制による減収補てん、感染防止のための施設整備及び資材・備品の調達費用など医療機関の減収は極めて深刻である。地域医療が立ちいかなくなる事態を招かないための財政措置が急務である。国、県への要望もふまえ、市としてどのような財政支援を考えているのか伺う。</p> <p>④市民向けのマスク配布は大変喜ばれている。特に高齢者の方などは手に入りにくい。「期間をおいて幾分かの支給があると助かる」との声も聴いている。市民向けのマスク、医療現場、介護現場、福祉</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>施設などへの必要な資材、備品を第2波に備えて充分備蓄すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) コロナ感染対策の「自粛要請」によって、市民の命と暮らし、飲食をはじめとする中小零細企業や農林水産業・地場産業に深刻な影響が生まれている。</p> <p>① 特別定額給付金は約9割が支給のめどがついているが、受給権者すべてに支給できるよう、具体的な手立ては検討され、実行されているのか。</p> <p>② 臨時会で可決した地元業者への支援施策についての周知は、市商工会からもされているようだが、会員以外の業者の方々にも市からチラシで知らせ、困っておられる業者に多くこの制度を使えるようすべきであるが見解を伺う。</p> <p>③ 施策方針で庁内に「コロナ社会に向けた政策検討チーム」を立ち上げると表明されている。今後国の第二次補正予算が出てくる。市民の実態をつかみ、市民要望を踏まえた政策が必要である。小規模事業者の雇用と経営を守るために、家賃を含む固定費への支援も強く要望されている。どのような施策を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 生活困窮者に対する支援の強化について</p> <p>① ひとり親世帯や就学援助をうけている世帯、収入が大幅に減少した世帯など、生活に困窮する世帯への直接支給が必要である。見解を伺う。</p> <p>② 生活困窮の最後のセーフティネットである生活保護の制度を知らない方々もおられる。厚生労働省社会・援護局保護課の事務連絡として、「新型コロナウイルス感染防止のための生活保護業務等におけ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>る対応について」(4月7日付)を自治体にむけて発出されている。制度利用を働きかけるために市として積極的に制度周知を図り、困窮者の支援を図るべきではないか。</p> <p>(4) コロナ禍のなかで、多くの市民が困難を抱えておられる。市は「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、特別な体制をとっている。様々な施策は申請が基本になっているので、困難な方々へ寄り添う手立てを工夫し、スピードある対応をするべきだが、見解を伺う。</p> <p>(5) コロナ終息後の社会のあり方について問う</p> <p>① コロナ危機は、人類の歴史の中でも最も深刻なパンデミックの一つになっている。そして、現在の社会の問題点を如実に浮き彫りにしている。医療費削減政策では、公立・公的病院の統廃合や保健所の体制の縮小、雇用問題では、労働法制の規制緩和を続けて非正規雇用を広げ、今雇止めという形で問題が噴出している。格差がどんどん拡大している状況にある。今の「日本や世界のあり方はこれでいいのか」と多くの国民が考えだしているが、市長はコロナ終息後の社会のあり方をどのように考えられるのか、所感を伺う。</p>	
6	21	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 非常事態を想定したこれからのまちづくり	<p>(1) 非常時には、リーダーの資質・能力が露わになる。「危機管理こそが行政の最大の課題」と言われる市長にとって、非常時にどう向き合わねばならないと考えているか。</p> <p>(2) 「差別や排除」が至る所でおき、自粛警察に見られる「過度な同調圧力」など人権に関わる事案が社会問題となっている。行政はどう対処せねばならないか。</p> <p>(3) 自然災害は想定していても、パンデミックへの備えはほとんどで</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>きていない中で、地域自主組織など共助や相互扶助の組織への支援についての問題点や課題はないのか。</p> <p>(4)大規模災害など非常時における基金の活用についての基本的な考えはどうか。また、税込減など今後厳しい財政運営を強いられると予想されるが、どう対処するのか。</p> <p>(5)全国的に看護、介護職場の離職者が増えている。崩壊しないための方策や手立てを自治体も考えておくべきではないか。</p> <p>(6)学校や子育て支援施設では、緊急連絡システムが確立されているか。</p> <p>(7)大きな被害を受けている飲食店などへの支援が商工会を中心に取組まれている。これを機に地元消費を増やす仕組みや仕かけづくりにもっと力を入れるべきだ。</p> <p>(8)地球規模のリスクにはパンデミックのみならず、気候変動への覚悟と対応もまったなしだ。持続可能の根幹である、環境・エネルギー、食料問題について自治体としてできることをしていくべきではないか。</p>	
7	5	原 祐 二 (一問一答)	1. 学習支援について	<p>新型コロナウイルス感染(第二波・第三波)への備えに向けた学習支援について</p> <p>(1)臨時休業期間における小中学生への家庭学習支援の状況について問う。</p> <p>(2)長期の臨時休校による学習課題について問う。</p> <p>(3)長期の臨時休校における学習対策について</p> <p>①家庭向け学習プリント配信システム(方法・費用・効果・課題など)と導入可否についての所見を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②児童・生徒の学びを保障するためのICT教育環境（タブレット及びネットワーク整備）の実現（1人1台端末）についての所見を問う。</p> <p>③市内高校生のオンライン学習をサポートする取り組みへの本市の支援について問う。</p> <p>(4)家庭におけるパソコン・タブレット、インターネット環境の状況について問う。</p> <p>(5)オンライン学習環境の有無と学力格差についての所見を問う。</p> <p>(6)新型コロナウイルスとの共存に向けた、教育環境（3密対策など）について今後の取り組みを問う。</p>	
8	14	細 田 実 (一問一答)	1. 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1)新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言は解除されたが、安全宣言や終息宣言ではない。緊張感を持って対応すべきだが、対策本部の体制、機能についての総括と今後の対応を伺う。</p> <p>(2)万全な医療体制、検査体制の充実や防護服など資材の備蓄など再び感染拡大を迎えた際に冷静に対処できる仕組みを整えることが必要ではないか。すでに整っているのか。</p> <p>(3)感染拡大リスクを防止し第2波、第3波へ備えるため一定の自粛・自制、休業も続けざるを得ず、公的な支援は不可欠である。必要な独自対策を追加することが欠かせないと思うがどうか。</p> <p>(4)すでに現在においても新型コロナウイルス感染症の影響で解雇、雇い止めが見込まれ日ごとに増加している。国の第二次補正予算も審議されるが、自治体においてはきめ細かな経済支援、労働対策、諸手続きへの支援が必要だ。今後の対策について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(5) 学校においても教師他職員の多忙が問題となっている中で、今回のコロナ感染症対策でさらに過重労働になっているのではないかと。また、養護教諭の負担も増しているのではないかと。対策をとる必要があるのではないかと。</p> <p>(6) 学校施設の感染防止対策（例えば水道栓の自動化、換気扇、など）が必要ではないかと。</p> <p>(7) 市役所、総合センターを含む公の施設における感染防止対策を日常的に強化すべきではないかと。</p> <p>(8) 市役所、総合センターは様々な方が訪れ感染リスクも高い。「市役所、総合センター、交流センターへご持参下さい」の文書も多いが、提出、届け出など郵送、ネットを使ってできるように工夫すべきではないかと。</p> <p>(9) 100年に一度の危機ともいわれるが、それに対して自治体も「カンフル剤を打つ」100年に一度の財政出動も含めた対策が必要だと思いがどうか。</p> <p>(10) 災害発生を迎えるが、避難にもコロナウイルス感染防止対策が必要となる。どのように考えているか。（分散避難等）</p> <p>(11) 生活困窮者も今後増え、生活保護申請も増加すると報じられている。そうした中で車を所持していても生活保護の対象とするとの報道があったが市の対応を伺う。</p> <p>(12) 保健所の統合、廃止など国の感染症対策が後退している中での今回の新型コロナウイルス感染症の事態を招いている。国、県に感染症対策を含め地域医療の充実を求めていく必要があると思いがどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 島根原発の安全 対策について	(1) 島根原発のサイトバンカ建物の巡視未実施が発覚し中国電力の安全対策、原発への不安が増している。市としての対処を伺う。	
9	10	藤原政文 (一括)	1. 新型コロナウイルス感染症による 影響と今後について	(1) 同感染症による雇用を含めた市内経済への影響をどのように分析しているか。 (2) 上記に対し、今後どのような対策を展開する考えか。 (3) 災害時の避難場所等における同感染症の対策が急がれる。その具体策を示されたい。 (4) 同感染症発生前の生活に戻れる時期、その基準をどのように考えているか。 (5) この「歴史的緊急事態」にあつて、同感染症は本市が計画している事業に大きく影響するものと予想される。今は、同感染症に係わる事業を最優先にして取り組むべきだ。 例えば、今後の経済情勢が見通せない状況下で進んでいる「食の幸発信推進事業」は、いったん保留にし、同感染症の第二波、第三波に備え、国も計画を前倒しにした「GIGA スクール構想」を優先させ、子供たちの学習を担保するべきだ。市長の見解を伺う。	
10	4	中村辰真 (一問一答)	1. コロナ禍を踏ま えた防災・減災対 策について	非常事態宣言は解除されたが、一時期に比べかなり少なくなったが、感染者は今も出ている。 コロナ禍の中にあつても災害に対する備えを怠ってはならない。3密の回避をどのように行うかなど新しい避難所のあり方や備蓄品について、今般の第2次補正予算案で拡充されることになる地方創生臨時交付金の活用を踏まえ、具体的な考えをまとめていくべきと考える。 (1) 避難所について	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①避難所の密状態を回避するためには、既存の避難所だけでは対応できないと考える。特に一時避難所においては、指定避難所より密状況が強くなるように感じるが、福祉避難所を含め、新たな避難所の設定の考えについて伺う。</p> <p>②内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(避難生活担当)などからは、通常の災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図るとともに、ホテルや旅館等の活用等の検討や、避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は親戚や友人の家等への避難を検討していただくことを周知することとした文章が発出されている。本市としてどのように取り組むのか伺う。</p> <p>③感染拡大防止の観点から、避難所の開設にあたっては消毒などを管理する人員が必要と考える。管理者の配置の考え方について伺う。</p> <p>(2)備蓄について</p> <p>防災用品の備蓄については以前より充実していると思う。今般マスク不足に対して、備蓄マスクを放出されたことは、感謝に堪えない。</p> <p>①避難所での感染防止対策として段ボールベッドやプライバシー保護にも有効な、つい立などの備蓄が重要となると考える。段ボールベッドやプライバシー保護のためのつい立の備蓄についての考えを伺う。</p> <p>②非常食などの備蓄品に対しては消費期限があるため、定期的に入れ替えが行われていると思う。マスクや消毒液については今回の状況を教訓として、今まで以上の数を備蓄しておく必要があるのではないかと考える。マスクの備蓄については保管状況により使用に堪えないものがあつたことは、今回の教訓としなければならない。マ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 非常事態宣言下における障がい者支援と高齢者と障がい者で構成される世帯への支援について</p>	<p>スクや消毒液の備蓄品については、定期的に入れ替えを行い、入れ替えられたものについては市民に放出することを提案するが考えを伺う。</p> <p>非常事態宣言が全国に発布され、休業を余儀なくされた業種があった。特に大手自動車メーカーの操業が止まった影響は少なからずその関連工場へも波及していた。</p> <p>(1) 障がい者の事業所の中には自動車部品を扱うところもあり、その影響が心配される。食品製造では販売所の休業により発注が減少し、利用者への工賃にも影響が出ていると聞いた。</p> <p>①緊急事態宣言下における市内障がい者福祉事業所の開所状況について伺う。</p> <p>②売り上げが減少した事業所に対しての支援策について伺う。</p> <p>③通常の日々と違った行動パターンの中、障がい者に対する心理的ケアをどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 高齢者と障がい者で構成される世帯への支援について</p> <p>全国の四半世紀先に行く雲南市の高齢化。障がい者の親の世代も高齢となり、高齢者と障がい者で構成される世帯が多くなりつつある。今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動自粛や経済活動の自粛。これに対する様々な支援策が講じられました。</p> <p>①高齢者と障がい者で構成される世帯をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>②特別定額給付金の申請において、このような世帯に対して申請時のサポートはあったのか伺う。</p> <p>③高齢の親に不慮な出来事が起こり障がい者が一人生活を余儀なく</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>された時に行政としてどのような支援があるのか伺う。</p> <p>④障がい者に対する支援についての相談は個別案件別で対応窓口が違う。これから先の新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の事を考えると、市のみならず関係機関が素早く連携できるワンストップ体制を構築することが重要と考えるが見解を伺う。</p>	
11	3	松林孝之 (一問一答)	<p>1. コロナ禍における地域経済対策について</p> <p>2. 新たな教育のあり方について</p>	<p>新型コロナウイルスは社会を一変させた。健康、生命に係る医療は元より、文化や経済、防災、インフラ、教育まで、すべての土台を見つめ直す事態となった。</p> <p>(1) 全世界において甚大な経済危機となっており、緊急措置として国や市の支援策等が実施されているが一時的なものにしか過ぎない。ウイルスの治療薬とワクチンが開発されるまでの長期戦の懸念もあり、すべての業種において先行きが不透明となっている。</p> <p>①地元事業者の衰退、消滅は農業に例えると「耕作放棄地の増加」であり、いったん荒れると再生は厳しく地域の減退へと繋がる。荒らしてはならない、無くしてはならない地元の宝を守る具体策を問う。</p> <p>②事業者支援の目線を変え、消費者にも地元事業者を支援する仕組みとして、市内購買に対し商工会を通じ実施されたポイントやクーポン事業等と共に、行政主体によるゴミ袋購入券やマスク交換券、更に施設利用券などを発行し、市内消費行動で「お得感」を得られる事業を展開してはどうか。</p> <p>昨年12月に令和5年度までに一人1台ずつパソコンかタブレットを整備する「GIGAスクール構想」が示されたが、この半年で様相は一変し、5月に補正予算総額2,292億円が前倒しされ、本年度限</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>りの予算措置となった。その内容は一刻も早く ICT 化を進め、オンライン化による教育のあり方の新たな一步を踏み出すための施策である。12 月に質問した時点ではメリットも多いが超えるハードルが高く、検討するとの答弁で、課題は学校内の環境、教員のスキル、そして家庭におけるインターネット環境等とのことであった。</p> <p>(1) 全国の学校が休業となった中、私立学校や一部の公立校ではオンラインによる授業が進められ、子どもたちの様子の確認や生活リズムの乱れを最小限に抑えることに繋がったと伺った。本市ではおんせんキャンパスでオンラインによる教育支援が実施され、高評価であったとも伺っている。市内では先駆け的な取り組みであるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 激変した学習環境に対応すべく、ICT 化への検討について</p> <p>① 端末配備と学校施設</p> <p>ア) 文科省は 5 月 15 日に構想の前倒しにより、学習用端末を本年度中に配備するとした。また、校内 LAN を整備する費用も構想の補助対象であるが検討されているか。</p> <p>イ) ICT 化による教育の可能性は広がるが、まずは新しい生活様式として「新たな教育環境」として、出来ることから着手すべきである。100%のシステム構築を待っているのは初めの 1 歩は踏み出せないと考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 家庭におけるインターネット環境</p> <p>ア) 児童生徒とインターネットとの関わり方については、これまでは前向きともいえない部分もあったがオンラインやリモートがスタンダードになり、切り離すのではなく活用する時代となった。本市の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>児童生徒がいる家庭におけるインターネット環境の整備状況は87,6%のようであるが、他市町との比較で普及率はどうか。</p> <p>イ)インターネットとの接続の有無は問わず、家族との共用も含め、学習用として児童生徒が使える端末(PC・タブレット)の保有状況を把握しているか。</p> <p>ウ)児童生徒のいる家庭における夢ネット TV の未加入率は3.2%、携帯電話電波不感地帯に居住する児童生徒のいる家庭は13世帯15人とのことだが、物理的にインターネット回線を引くことが出来ない保護者世帯はあるか。</p> <p>③教員のスキルアップ</p> <p>ア)GIGA スクール構想に対して現場の教員のモチベーションは。</p> <p>イ)GIGA スクール構想では、教員スキル向上に向けたフォローアップにICT支援員の配置も可能としている。教材というより新たな仕組みであるICTには、専門家のアドバイスは必要不可欠であるが現場との意見交換は。</p> <p>ウ)このような状況下において、県下の教員のスキルもスタンダードになるのが当然と考えるが、導入の有無で教育格差が生まれてはならない。GIGA スクール構想の県内他市町の取り組み状況は。</p> <p>(3)これまで本市は、県内では最初に小中学校の普通教室へのエアコン配備や、県立高校までも取り込んだ「夢発見プログラム」による教育の魅力化を進め、他市の保護者や教育機関から高い評価を得てきた。そうした中、今回のコロナ対策としての教育のICT化は、先行投資ではなく、もはや危機管理ともいえる状況になった。人口の社会増を目指すにあたり子育て世帯への魅力化を示す観点からも導</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				入は待ったなしであるが、施策への取り組み本気度を伺う。	